

「あつぼん」の笑顔

またまた、あつぼんを書きたくなかった。センスのよい、あつぼん母のブログに、なんとも言えない写真を見つけた。不思議な空間とあつぼんの笑顔である。



場所は旧日本銀行広島支店。そこで「SAORI Peace Weave 2017」が開催されており、200本ものさまざまなタペストリーが飾られ、多種多様で幻想的な空間がつけられていた。あつぼんは高い所から垂れ下がる、たくさんのタペストリーに大興奮。ニコニコと飛び跳ねて、大満足の様子。こんな表情のあつぼんも初めてだ。

いつも車いすの位置から上を眺めている、あつぼん。その視線から、いつもと違った感動、興味を感じたのだろう。このような空間を初めて見たが、心を引き寄せられた。あつぼんのように興味が湧いてきたので、すこしネットで調べてみた。



会場の日銀広島支店は、1936年に中区袋町に建てられ、1992年まで銀行として利用された。原爆の爆心地から380mという距離で被爆建物の一つだが、堅牢な建物であり倒壊を免れた。現在、国の重要文化財指定をめざしているが、ギャラリーなどとして市民に開放されている。市民の貴重な交流の場だ。

「SAORI」も初めて知った。「さをり織り」という1968年に大阪で産声をあげた手織りの手法であり、「自分のもって生まれた感性を最大限に引き出す」手織りという。



作品のなかには、あの「相模原事件」をモチーフにしたものも。黒い19枚の布1枚1枚に、カラフルな布が花のように手向けられ、作品名は「キル・いきる」。もうじき、あの痛ましい「事件」から1年になる。



とにかく、心に残る写真が多かった。この日銀支店を含め、久しぶりに広島地にも行ってみたいとなった。その時は、あつぼんにも会えるかな。

(2017年7月16日)